

一般会計予算決算常任委員会
新型コロナウイルス感染症対策
分科会記録

令和2年9月1日

【開催日】 令和2年9月1日

【開催場所】 大会議室

【開会・散会時間】 午後2時～午後3時48分

【出席委員】

分科会長	高松秀樹	副分科会長	山田伸幸
委員	伊場勇	委員	水津治
委員	長谷川知司	委員	藤岡修美
委員	松尾数則	委員	宮本政志
委員	吉永美子		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰	副議長	矢田松夫
----	-----	-----	------

【執行部出席者】

副市長	古川博三	総務部長	川地論
総務課長	田尾忠久	総務課危機管理室長	境田公嗣
総務課主事	松岡祥吾	企画部長	清水保
企画部次長	和西禎行	企画部次長	山根正幸
企画課主幹	工藤歩	企画課政策調整係長	佐貫政彰
情報管理課課長補佐	村上信一	福祉部長	兼本裕子
福祉部次長	岩佐清彦	福祉部次長	尾山貴子
子育て支援課長	長井由美子	社会福祉課主査	須子幸一郎
子育て支援課主幹	別府隆行	子育て支援課主査	野村豪
子育て支援課子育て支援係長	西村真愛	健康増進課課長補佐	大海弘美
健康増進課主査	林善行	健康増進課健康増進係長	古谷直美
教育長	長谷川裕	教育部長	岡原一恵
教育次長	吉岡忠司	学校教育課長	下瀬昌巳
学校教育課主幹	小野雅弘	学校教育課課長補佐	西村一郎
埴生幼稚園長	高橋和世		

【事務局出席者】

事務局 長	尾 山 邦 彦	事務局 次 長	石 田 隆
-------	---------	---------	-------

【付議事項】

- 1 議案第89号 令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第11回）について

午後2時 開会

高松秀樹分科会長 ただいまより一般会計予算決算常任委員会新型コロナウイルス感染症対策分科会を行います。内容に入る前に今回の分科会の運営について一言申し上げます。コロナの対応のために、換気のため休憩をおおむね30分程度で取ってまいりたいと思います。さらに、委員の質疑、そして執行部の答弁についても要点を押さえ効率的な運営になるように注意を払っていただきたいと思います。しかしながら、今回は補正予算の審査ですので、委員を含めて慎重審査に努めていただきたいと思います。それでは内容に入ります。本日はまず冒頭に企画課長から総括説明を求めます。

和西企画部次長 企画課から冒頭、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に関する市の対応等、総括的に御説明させていただきます。新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し、地方創生を図るため各自治体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な施策を実施するために新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が創設され、配分されました。国の第1次補正予算において7,000億円が計上され、本市においては約2億2,000万円が交付されています。さらに、第2次補正予算において2兆円が計上され、本市におきまして5億5,000万円を上限とする配分が決まりました。合わせて、7億7,399万3,000円が本市における交付金の上限額となります。なお、1次補正分においての3,

000億円の配分がまだ決定しておりません。これは、例えば、本市で言えば、厚陽地区に光通信網を整備する事業など、国庫補助事業の地方負担分、いわゆる補助裏に充てることができるもので、各自治体からの国庫補助申請を踏まえ、11月あるいは12月に各自治体への配分額が決定する予定です。この交付金は、自由度が高い交付金となっており、第1次補正予算分2億2,000万円と第2次補正予算分5億5,000万円では、交付金の使途等について大きな変更はありませんが、第2次補正予算分5億5,000万円につきましては、家賃支援を含む事業継続や雇用維持等に係る事業分と、新しい生活様式を踏まえた地域経済の活性化等に係る事業分という目安が設定されました。この目安は、厳格に守る必要はありませんが、新しい生活様式を踏まえ、地域の社会経済構造を将来の感染症リスクに対して強じんなものへと改革するための対策を積極的に行うよう求められています。本市においては、5月議会や6月議会等において補正予算を計上し、可決いただいたものとともに、予備費充用により決定した約11億円の事業を、この交付金に該当する事業として国に申請しています。2次補正の事業区分によれば、家賃支援等を含む事業継続や雇用維持等に関する事業に当たるものとして、本市においては、事業継続給付金事業や発熱外来設置事業、新生児応援金給付事業が当たり、また、新しい生活様式を踏まえた地域経済活性化に関する事業としてスマイルチケット発行事業やGIGAスクール構想の端末整備事業の内の国庫補助対象外分が該当します。既に、本市における上限額の7億7,000万円を超えた申請となっているところです。ですが、9月議会においても新しい生活様式を踏まえた地域経済の活性化等に関する事業を中心に、総額3,697万3,000円の補正予算を計上させていただきました。お手元の資料、先ほどお配りさせていただきました議案第89号の補足資料を御覧ください。詳細は後ほど、各担当課が説明することになります。この資料のうち地方単独事業となりますのが、小計①と書かれたところから下の三つになります。感染拡大防止事業、WEB会議環境整備事業、避難所環境整備事業です。この3事業につきましては、7億7,000万円に該当する事業として、9月下旬に国

に申請する予定です。また、新型コロナウイルス流行下における妊産婦総合対策事業、学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業、GIGAスクールサポーター配置事業については、国庫補助の申請をするほか、一般財源分につきましては、先ほど説明しました、まだ自治体への配分額が決まっていない3,000億円に該当する事業ですので、冬頃に国に申請する予定です。感染拡大防止に必要な取組を適宜進めるとともに、令和3年度以降においても、市民生活や行政手続におけるデジタルの活用など新しい生活様式を踏まえた取組を進めてまいります。

高松秀樹分科会長 以上が総括説明ですが、委員の方、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）よろしければ、議案第89号令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第11回）の中のお手元に資料にありますとおり健康増進課分、子育て支援課分、社会福祉課分の三つを連続で説明をまずお願いしたいと思います。

尾山福祉部次長 それではまず健康増進課分について説明いたします。補正予算書の25、26ページをお開きください。4款衛生費、1項保健衛生費、8目新型コロナウイルス対策費218万9,000円の増額分について御説明いたします。この増額分には二つの事業が含まれています。まず、一つ目は令和2年度母子保健衛生費国庫補助金、補助率2分の1を活用し、新型コロナウイルス流行下における妊産婦総合対策事業として、保健センターにオンラインによる母子保健指導等が行える環境を整備するものです。本市においても新型コロナウイルス感染症の拡大により、マタニティひろばなどの母子保健事業を休止せざるを得ない状況となっており、また、感染症への懸念から相談窓口への訪問をちゅうちょされる妊産婦等もいらっしゃる状況となっています。このような中、オンラインでの個別相談や保健指導を可能とする環境を整えることにより、感染症が拡大する中でも妊産婦等が安心して出産育児が行えるようになることを目指したいと考えております。二つ目の事業は新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業費補助金（児童福祉施設等分）を活用し、

母子保健事業における新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業として子育て世代包括支援センター・ココシエ、乳児全戸訪問等の母子保健業務を行う職員及び母子保健推進員、母子保健事業利用者等に対して感染拡大防止のためのマスク、消毒薬等の購入を行うものです。この事業に関する補助率は10分の10となっております。これら事業に係る経費について御説明いたします。4款衛生費、1項保健衛生費、8目新型コロナウイルス対策費のうち11節需用費、消耗品73万7,000円のうち3万7,000円はオンライン環境を整える事業に使用するzoomのライセンス料です。残り70万円は感染拡大防止対策事業として使用する消毒液やマスク、ペーパータオルなどの費用です。12節役務費、通信運搬費4万4,000円はフレッツ光のプロバイダー費用6か月分の費用となります。13節委託料、工事委託料94万8,000円はLAN整備に係る費用です。18節備品購入費、機械器具費46万円はオンラインで使用するパソコン2台分及びその附属品、ビデオカメラ等の経費です。これら費用に係る歳入は13、14ページをお開きください。まず、オンラインに係る歳入です。15款国庫支出金、2項国庫補助金、3目衛生費国庫補助金、1節保健衛生費国庫補助金72万2,000円は、本事業における通信運搬費を除く経費の2分の1を令和2年度母子保健衛生費国庫補助金として国が負担するものです。次に感染拡大防止対策事業に係る歳入です。16款県支出金、2項県補助金、2目民生費県補助金、2節児童福祉費県補助金、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業費3,370万円のうち70万円分が本事業の歳入となります。説明は以上です。御審査のほどよろしく願いいたします。

長井子育て支援課長 子育て支援課分について御説明します。一般会計補正予算書の21ページから24ページまでの3款民生費、2項児童福祉費の補正予算について御説明いたします。9目子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費、19節負担金、補助及び交付金200万円を計上しております。これは一般会計補正予算（第4回）補正で御承認いただいた令和2年度子育て世帯への臨時特別給付金に関する経費です。一般の受給

者に対する給付はほぼ終わっておりますが、公務員分については受付期間が11月末までとなっております、現在も申請を受け付けております。当初、国は公務員分の支給対象者を一般の支給対象者の1割と見込みましたので、その割合で予算計上いたしました。不足する見込みとなりましたので、不足分200万円を計上しております。これに対する歳入予算につきましては、補正予算書の13、14ページをお開きください。補助率10分の10で国庫補助がございますので、15款国庫支出金、2項国庫補助金、2目民生費国庫補助金、2節児童福祉費国庫補助金216万円のうち、子育て世帯臨時特別給付金給付事業費補助金200万円を充てることとしております。21、22ページにお戻りください。続きまして、10目新型コロナウイルス対策費3,350万円について御説明いたします。新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業費として、11節需用費、消耗品費50万円、18節備品購入費、庁用器具費22万円、園用器具費250万円、19節負担金、補助及び交付金、新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金2,978万円を計上しております。これは、一般会計補正予算（第7回）で御承認いただいた、新型コロナウイルス感染症対策事業費補助事業とほぼ同内容の事業です。新型コロナウイルス感染症対策として、市内の保育所及び子ども・子育て支援事業計画に基づき実施している一時預かり等の事業を実施する保育施設等に対して、保育所等は1施設当たり、実施事業については1事業当たり50万円を上限とし、感染症対策に必要な消耗品や備品等を購入する費用又はその購入費用に対し補助を行うための費用で、これにより各施設を利用する者が安全に利用できるよう環境整備を行うものです。ただし、今回は物品の購入費用だけでなく、施設に勤務する職員が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の消毒や清掃作業等を時間外勤務で行った場合の人件費も対象となります。50万円の範囲内であれば、物品購入費用と人件費費用の割合の制限はありません。この事業の財源については、予算書13、14ページを御覧ください。この事業は国の事業ですが、県が国から補助率10分の10の事業費補助金の交付を受け、市は県から補助率10分の10の交付を受けることになってい

ますので、16款県支出金、2項県補助金、2目民生費県補助金、2節児童福祉費県補助金、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業費3,370万円のうち3,300万円を充てることとしています。次に、23ページにお戻りください。相談支援体制強化事業費として、19節負担金、補助及び交付金、相談支援体制強化事業費補助金50万円を計上しております。これは、地域子育て支援拠点事業において、オンラインを利用した相談支援や関係機関との連絡調整を図るため、通信機能を備えたタブレット端末等を購入し環境を整備することで、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮した相談支援体制を構築するための費用です。この事業については、予算書13、14ページを御覧ください。国、県の補助率がそれぞれ3分の1であることから、15款国庫支出金、2項国庫補助金、2目民生費国庫補助金、2節児童福祉費国庫補助金、子ども・子育て支援交付金16万6,000円及び16款県支出金、2項県補助金、2目民生費県補助金、2節児童福祉費県補助金、子ども・子育て支援交付金16万6,000円を充て、残る16万8,000円が一般財源となります。説明は以上です。御審査のほどよろしくお願いたします。

岩佐福祉部次長 23ページ、24ページをお開きください。3款民生費、4項災害救助費、2目新型コロナウイルス対策費を405万4,000円増額するものでございます。内訳といたしましては、11節需用費を80万6,000円、18節備品購入費を324万8,000円それぞれ増額いたします。これは新型コロナウイルスに代表される感染症対策を踏まえた避難所運営に必要な資機材を備蓄するものでございます。主なものといたしましては、パーティション及び簡易ベッドをそれぞれ90台、そのほかアルコール消毒液、フェイスシールド、長袖ガウン等の消耗品でございます。備蓄する数量につきましては、地域防災計画で想定している菊川断層による地震の避難所生活者を最大値として、家庭内備蓄、日本赤十字社及び協定事業所から提供される流通在庫備蓄などを勘案しながら算定したものでございます。以上、慎重審査のほどよろしく

お願いいたします。

高松秀樹分科会長 以上で説明が終わりました。委員からの質疑を求めますが、まず、健康増進課分の質疑について求めます。

伊場勇委員 まず、オンラインで妊婦の方等に相談や予防をいろいろ聞いていくということなのですが、現状どれぐらいの方がこの状況でなかなか相談に乗れてないと、そういった今の状況をまず教えてもらっていいですか。

古谷健康増進課健康増進係長 現在は母子保健事業のほうは新型コロナウイルスで、また、公共施設などが使えないようになっていますが、それまではほぼ従来どおりの相談を行っておりまして、妊娠届出時の面接ですとか、家庭訪問ですとか、来所の健康相談などを行っております。

伊場勇委員 パソコンを2台購入されるということなのですが、これはどちらに置かれて、スタッフはどういうふうな体制で、これをこなしていくのでしょうか。

古谷健康増進課健康増進係長 パソコンは保健センターに置くようにしております。使うスタッフは保健師や管理栄養士を想定しております。

長谷川知司委員 今の関連ですけど、LAN整備というのは、どの場所にされるんですか。

古谷健康増進課健康増進係長 保健センターの2階と1階、あと厚狭地区複合施設の相談室2部屋の予定です。

吉永美子委員 オンラインによる相談を受けるということは大変いいことだと思うんですね。このコロナ禍にあって妊婦さんがこれまでにない不安を

持たれたりとかすると思うんですけども。これは今ほとんどがスマホをお持ちという認識の下で、妊婦の方でこういうことに対応できない人は基本的にいないというふうな考え方でよろしいのでしょうか。オンラインができないという方です。

古谷健康増進課健康増進係長 オンラインが必ずしも全員できるわけではないと考えておりますので、活用できる方についてはオンラインの保健指導であったり、教室っていうところと、それ以外ではまだ今準備中なんですけども、ユーチューブであったりとか、ホームページであったりとかっていうところ、また来所であったり、家庭訪問であったりというふうな、様々な方法で妊婦の方の不安の軽減ができればと考えております。

吉永美子委員 とりあえずフレッツ光が6か月分ということは、10月から来年の3月までということで、これはこれからもずっと続けて、いわゆるコロナというのと、これからコロナじゃなくてもいろんな感染症のリスクは出てくる可能性があるので、これからこれは何年間にもわたって続けていくっていう考えの下で始められるのでしょうか。

古谷健康増進課健康増進係長 オンラインの保健指導につきましては、新型コロナウイルスが終了したら終わるというふうには考えておりません。このオンラインの保健指導っていうのは電話などの健康相談よりも相手の表情であったり、お話しする後ろの環境であったりとか、電話よりたくさんのお話を得ることができるというふうに考えております。本当は対面の家庭訪問で状況を把握することが必要でもそれができない方にとっては、電話よりオンラインのほうが効果的ではないかと考えておりますので、対象によって使い分けるといえることができるかと考えていることから、コロナが終息してもオンラインの良さをいかした保健事業を実施したいと考えております。

山田伸幸副分科会長 オンラインで保健指導等を行うということなんですけど、

こちら側がこういう体制を整えてID等をライセンスによって取得をして相手に伝えて、それでzoomで指導をされるというふうに思うんですけど、相手方がこれに対応できるのか、その辺は調査されておられますか。

古谷健康増進課健康増進係長 実際の妊婦の方に「もし、zoomでやる場合にはできますか」というふうなところを直接聞いているわけではないんですけども、やはり今若い世代の方では、使いこなせる方が多いのではないかというふうに考えております。始めるときには、例えばなんですけども、妊娠届出時の面接のときに「こういうのをするんですが、どうですか」というふうなアンケートをとったりですとか、IDやパスワードを送ったりするためのメールアドレスを事前に聞くとかというふうなことを対応したいと思っております。

高松秀樹分科会長 ウイズコロナの取組ということでやるということです。なければ次の3款2項9目と10目、子育て支援課の説明についての質疑を求めます。21、22、23、24ページの上までです。よろしいですか。臨時特別給付金、前の分の不足分を予算計上ということですね。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）次のページは感染症対策事業費補助金という50万円を上限にうんぬんという説明がありました。

伊場勇委員 市内の保育所に50万円の上限というところなんですけど、職員の時間外勤務、消毒等に関わるということで今、市内でも保育所が休園とかされているところがあったりとかして、現にこういうのが生じているからこういう補正で出てきたというふうに理解してもいいのでしょうか。

長井子育て支援課長 おっしゃるとおり、コロナが保育園でまん延しない対策のために、今全ての保育所が消毒や手洗い、子供たちに手洗いをよくさせたりとか、様々な対策を行っています。子供たちが夕方5時、6時に

いなくなった後に施設やおもちゃの消毒、清掃等をしておりますので、それが時間外にわたった場合の人件費の補助ということです。

伊場勇委員 現にそういったところで時間外とか、たくさん職員の方が苦勞されているところがあるということですね。

長井子育て支援課長 恐らくやむを得ず時間外の消毒等になっている保育園はあると思います。

松尾数則委員 保育園に関しては休園をするとか、そういったときのシステムがしっかりしたものがないという話をちらっと聞いたことあるんですが、そういうシステムはあるんですか。誰かが出たら休園するとか。

長井子育て支援課長 保育園は日中に保護者の方がお勤めをしてらっしゃる際に、その子供を預かる施設ですけれども、実際に園から感染者が出た場合には、国のほうから2週間程度、感染した人はお休みをするようにというような通知も出ておりますので、そういった感染者が出た場合の基準となるものはございます。

松尾数則委員 そうすると市のほうからそういった「あなたは休みなさい」とかいう指示が出せるんですか。

長井子育て支援課長 園児や職員に感染者が出た場合に市のほうから休んでくださいというような指示を出すかということですか。(発言する者あり) どの範囲の方の欠席を要請するというようなことは保健所にも相談に乗っていただいで決めるようになります。

山田伸幸副分科会長 実際に今、休園というのが出てきているわけですが、公立の場合はいいとして、民間がそうなったときに民間の休業補償とか、そういったものは対応できるんでしょうか。

別府子育て支援課主幹 民間でもし、コロナウイルスの感染者が出た場合でも保育の実施者は市でございますので、市から休園の指示を出すようになるかと思えます。その際の休業補償ということですが、基本的に休業した場合でも運営費というのはそのまま1か月分が丸々支払われるという扱いを今までもしておりますので、特段その休園になったからといって損失が生じるというふうには考えておりません。

高松秀樹分科会長 それでは次に社会福祉課の3款4項の備品及び消耗品の購入について、質疑はありますか。

長谷川知司委員 この時期には業務が殺到していると思うんですが、このパーティションとか簡易ベッドの納期はいつ頃までを考えてらっしゃるかということと、それをどこに何セットずつ配備するかを教えてください。

須子社会福祉課主査 納期につきましては、この補正予算が通りまして発注することになりますけれども、9月に発注をして、在庫については一応、参考で見積もり取ったところについては確保できるというふうには聞いておりますけれども、実際に落とされる業者と相談ということになるかと思えます。保管場所につきましては、現状、市役所及び厚狭地区複合施設にございます防災倉庫のほうにまずは備蓄するというふうに考えております。

長谷川知司委員 納期の時期がはっきり言われなかったんですけど、納期はいつですか。

須子社会福祉課主査 ちょっと種類もいろいろございますので、なるべく早い時期に確保したいとは考えております。

岩佐福祉部次長 何月ということはお答えできにくいんですが、落札された業

者の方にはもう手に入り次第、全部そろわなくても入れてくださいということで話をしていますので、なるべく早い時期ということにさせていただければと思います。

長谷川知司委員 逆に見積りを取られたときに何月納期ということ由市からはっきり申しているのかどうか。また、それで見積書を取ったときの返事がどうだったのかということを確認されて、今度、発注するのが本当だと思うんですね。だから、もし、間に合えば納期がいつなのかっていうのを市のほうがまず必要な納期を決めて対応するようにしてください。

山田伸幸副分科会長 これは今回の備品とは直接関係ないかもしれませんが、この猛暑の中での避難ということがもし発生したときに、非常に健康維持が難しくなってくるんじゃないかなと思うんですけど。実際に校区ごとにエアコンが配備された避難所というのは確保されているんでしょうか。

高松秀樹分科会長 ちょっと議案から逸脱しますが、お答えがあれば。

須子社会福祉課主査 各校区にエアコンがある施設があるかどうかということだと思いますが、基本的には公民館施設に関しては必ずエアコンが付いております。学校施設等体育館施設についてはエアコンが付いておりませんので、当面は、扇風機等で対応ということになります。

高松秀樹分科会長 パーティションと簡易ベッドってどういったものを今後発注される予定になっているんですか。イメージ。

須子社会福祉課主査 パーティションにつきましては2メートル四方を囲む・・・。

高松秀樹分科会長 素材は何ですか。段ボールですか。

須子社会福祉課主査 段ボールではなくて・・・。

岩佐福祉部次長 アルミの枠にビニール素材で張ってあるもので四方を囲むようになっています。2.1メートル四方を囲むようになっています。その中に入る簡易ベッドということで、一つのパーティションの中に1台の簡易ベッドということで90台そろえるようにしております。

高松秀樹分科会長 簡易ベッドっていうのはどんなベッドですか。

岩佐福祉部次長 同じようにアルミで組立式のベッドです。

高松秀樹分科会長 段ボールとかじゃなくて、そういったもうちょっとしっかりしたベッドだということですよ。

岩佐福祉部次長 段ボールよりコンパクトに収納しやすいものと考えまして、現在はクイックパーティションと簡易ベッドを購入する予定にしております。

山田伸幸副分科会長 今2メートル四方ということでしたが、ということは平米数でいったら4平米、これは何人がその中に入るのでしょうか。

須子社会福祉課主査 御家族の場合ですけれども、一人ないし二人と考えております。

伊場勇委員 金額がそれぞれベッドとパーティション、幾らぐらいするものなのでしょうか。

須子社会福祉課主査 単価でよろしいでしょうか。（発言する者あり）クイック

クパーティションが税抜きで2万6,000円、簡易ベッドが税抜きで6,800円でございます。

藤岡修美委員 財源が405万4,000円で一般財源になっておりますけども、先ほど企画課長から説明があったかも分からないんですけど、これは一般財源のままなんですか。

和西企画部次長 この事業につきましては、先ほど来、御説明させていただいた7.7億円の単独事業のほうに該当いたしますので、財源充当がないという形になります。

吉永美子委員 6月の一般質問のときに避難所の備品っていうかそういったコロナ対策に関して、どのようにやっていくかということで早急にやっていくっていうお話がありましたけども、今言っていた405万4,000円のアルコールとかフェイスシールド、それからクイックパーティション、簡易ベッドのほかに、この度、新たに用意するものはありましたか。

岩佐福祉部次長 そのほかと言いますと、長袖のガウンとか、天然ゴムの使い切りの手袋とかそのような消耗品も購入する予定にしております。

吉永美子委員 この度、早急に用意するとおっしゃっていたのがこの405万4,000円で、これからの感染症っていう部分で避難所においてはこれで十分に対応できるというふうに思われての今回の予算計上ということでしょうかね。

岩佐福祉部次長 それを見据えて、この度、備蓄計画を作成いたしました。現状である計画の中にはこれだけのものをそろえればということで思っておりますので、絶対にとということまでは言い切れないんですが、現在計画している中ではこれで十分だということを考えておるところでございます。

ます。

高松秀樹分科会長　ここで職員入替えのため暫時休憩をします。10分後ですので50分に再開いたします。それでは暫時休憩します。

午後2時40分　休憩

午後2時50分　再開

高松秀樹分科会長　それでは委員会を再開いたします。補正予算第11回分の総務課、情報管理課の説明をお願いいたします。

田尾総務課長　それでは補正予算書、19ページ、20ページをお開きください。2款総務費、1項総務管理費、31目新型コロナウイルス対策費11節需用費、消耗品費262万円のうち253万5,000円がアルコール消毒液の購入費でございます。国が示す感染防止対策として新しい生活様式が示されており、最も重要視されている一つとして、まめに手洗い、手指消毒というのがございます。本市において新型コロナウイルスの感染者が増加している傾向の中で、市内の各公共施設、各小中学校へアルコール消毒液を配備するための補正をこの度行うものでございます。説明は以上でございます。

山根企画部次長　ページは19ページです。新型コロナウイルス対策費、補正額543万2,000円のうち情報管理課分、WEB会議環境整備事業として289万7,000円について説明いたします。本市においてもコロナ下における感染拡大防止の観点から、セキュリティに配慮しながらWEB会議の活用を進めております。このWEB会議は、5月から貸出用ノートパソコン3台で利用を開始しておりますが、国や県も積極的な活用を求めてきており、オンラインでの会議や研修の需要が高まってきております。既存の機材及びネットワーク環境では現在不足してきており

ます。ついては、WEB会議環境の追加整備が急がれますので、補正予算として要求するものです。20ページの詳細な説明に移ります。11節需用費262万円のうち、総務課分を除いた8万5,000円はWEB会議主催者用ライセンス1本、ウイルス対策ソフト5本、パソコン収納バック5つの購入費用です。13節委託料145万1,000円は本庁舎、本館及び別館のLAN工事委託料です。この工事により利用可能となる会議室が13か所増えることとなります。14節使用料及び賃借料6万5,000円はインターネット回線の追加費用6か月分です。18節備品購入費129万6,000円はノートパソコン5台、会議用マイク・スピーカー5セット、ネットワーク機器1台の購入費用です。この事業の特定財源はございません。説明は以上です。御審査のほど、よろしく願います。

高松秀樹分科会長 それでは今説明があった総務課及び情報管理課分についてのみの質疑を受け付けます。

伊場勇委員 まず、アルコール消毒のため253万円ということなんですが、これはいつぐらいまでの量としてこの金額の購入をされるんでしょうか。

田尾総務課長 本市といたしましては、10月以降の消毒液を考えておりました。対象施設としては75施設、1か月の使用料は約1,110リットル、これは各施設に希望調査を取ったもので積算したものでございます。1,110リットル、一つの単価を6,920円と見積もっております。1か月が42万2,466円、これの6か月分ということで253万4,796円計上しております。

高松秀樹分科会長 今の総務課分についてほかに質疑ありますか。

長谷川知司委員 回線使用料が6か月分で6万5,000円ですね。先ほどほかの課であったのが回線使用料6か月分で4万4,000円とあったん

ですが、この差っていうのは何かあるんですか。

山根企画部次長 健康増進課分との差の詳細はチェックしていないんですが、同じフレッツ回線を契約する予定でございます。ただし、情報管理課は全体のネットワークとして通信機器、少しルーターという機器を一つ構える関係で少し値段が上がっているのではないかなと思います。

高松秀樹分科会長 消毒液のほうに戻りますけどいいですか。1, 110リットル掛ける6か月分ということやったですね。（「はい」と呼ぶ者あり）はい。

山田伸幸副分科会長 この本庁舎内のLANのことなんですけど、無線環境は使えるのか。それとも、そのままLANの回線を直接つながなくちゃいけないのか、その点いかがでしょうか。

山根企画部次長 有線環境で使うように考えております。というのは、インターネット回線だけではなくて、多目的にネットワークを切り替えるということを想定しています。例えば、庁舎内で職員が感染した場合、そこを閉鎖するということが考えられます。そこから避けるための部屋として、例えばシステムによってネットワークが違います。窓口用の住民情報系、内部情報、行政事務を行うネットワーク、それを有線LANだったら切り替えることができますので、有線LANとして今回は考えております。

高松秀樹分科会長 今回、新規購入ノートパソコンは5台なんですけど、このWEB会議で使用するパソコンはトータルで何台になるんですか。

山根企画部次長 そもそも貸出用ノートパソコン3台から始めております。この中身は何が違うかと言いますと、マイクロソフトオフィスのライセンスが入っています。主な用途として説明会の際にパワーポイントとか

を使っている分です。WEB会議っていうのはそういうライセンスが必要ないものですから、今回5台追加するものについてはマイクロソフトオフィスライセンス、結構五、六万円と高いものなんで、それは購入する予定にしております。ということでこの5台はWEB会議専用として今のところ考えております。

高松秀樹分科会長 つまりWEB会議はこの5台だけでやるということになるんですね。（「はい」と呼ぶ者あり）

伊場勇委員 5台を置く場所、遠くの人が集まらなくていいということだと思わんですけど、場所を教えてください。

山根企画部次長 今後の検討にはなるんですけども、今、総合事務所の新しい建屋には同じように有線LANの環境がございます。本庁から市の光ケーブルを通じて総合事務所までネットワークが通じております。ですから、総合事務所でもWEB会議ができるような環境を、この度のこの経費の中で構築しようとしております。ですから常設で考えられるのは総合事務所と本庁で保有台数を考えながら分散させようかというふうに思っています。今のところ、本庁に4台、総合事務所に1台なのかなというふうに考えています。

山田伸幸副分科会長 いわゆる密を回避するために部屋で分かれてというようなこともされているというのを見ておりますけれど、これは1部屋にまとまってやるということなんでしょうか。

山根企画部次長 WEB会議のシステムは少人数のタイプです。5人でもやはり多いんじゃないかなと思うんで、2、3人程度が集まってというところと、今回のWEB会議についてはインターネットを使ったクラウドで外部を意識しています。庁内でのっていうところは今のところ余り考えてないところであるんですけど、使えるのは使えます。

山田伸幸副分科会長　ということは、例えば、アドバイザーとかそういう専門の方にLANでつながっていただいて、その方といろいろな質疑応答などをするということが想定されているのでしょうか。

山根企画部次長　この3か月間にその実績が2、3例ございます。実際に行っております。国の派遣される講師の方と直接WEB会議でつないで支援を頂いているという実績もございます。

高松秀樹分科会長　WEB会議って、要は職員と市民の団体とかっていうんじゃないくて、そういった使い方をするということになるんですか。

山根企画部次長　今のところ職員を限定とした仕組みというふうに考えております。

高松秀樹分科会長　ということは職員同士でWEBを用いて会議を行うための購入又は整備ということですか。

山根企画部次長　そのとおりでございます。

吉永美子委員　そうすると、たしかさっきWEB会議ができる部屋が13か所って言われたんですかね。それは具体的にはどういうふうなところになるんですか。

山根企画部次長　本庁舎では現在7か所です。整備後は20か所で13か所増えるということになりますが、具体的なお部屋の名前を言ったほうがよろしゅうございますか。（発言する者あり）この予算では13か所のLAN整備ということで予算計上させていただいております。

高松秀樹分科会長　せっかくですので20か所、ちょっと試してみてもらえま

すか。

山根企画部次長 本庁舎2階から市長室、副市長室、庁議室、市長応接室、4か所整備後開通になります。本庁3階です。12か所になります。大会議室、ここを区切ってA、Bです。第1・第2委員会室、小会議室、第1会議室、第2会議室、議長室、議会会議室1・2、議会応接室、議会図書室で12か所でございます。別館がございます。別館は今、ネットワーク、有線LANの配線をしておりません。1階の都市計画課会議室、2階の土木課会議室、3階の教育委員会会議室、教育長室の4か所でトータル20か所というふうになります。

高松秀樹分科会長 というのは今後を見据えたLAN整備でもあるというふうにも取れますよね。

吉永美子委員 ということでありますと、これから例えば、外で職員がおられたりしていますよね。例えば文化会館とかそういったところは、今後どういうふうに、どこまで広げるっていうことを考えておられるんですか。

山根企画部次長 現在のネットワークで例えば公民館の事務室まではイントラで対応ができております。公民館の各部屋までは実際のところ整備ができておりません。それを必要とした場合は、例えば、我々職員が仮にLANを引くという形で使えるような状況にするというふうに今のところ考えております。

吉永美子委員 だから、今申し上げた文化会館とかそういったところはどこがどう必要かっていうことをこれから先調査して、ここには引こうとかいう計画があるんですか。

山根企画部次長 実績に基づいてというところになろうかと思っておりますので、今のところその必要に応じてというところで要求をさせていただいている

ところでございます。

高松秀樹分科会長 それでは引き続きまして学校教育課の説明をお願いします。

下瀬学校教育課長 初めに、学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業について御説明いたします。29ページ、30ページをお開きください。上段の10款、2項、4目、11節消耗品費238万5,000円、18節備品購入費1,615万円のうち、機械器具費890万1,000円、校用器具費471万4,000円、同じく29ページ、30ページ下段、10款、3項、4目、11節消耗品費130万円、12節通信運搬費2万円、備品購入費618万円のうち、機械器具費272万5,000円、校用器具費345万5,000円、合わせて2,350万円の増額は、学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業として、各学校が新型コロナウイルス感染症対策を強化するために必要な物品の購入及び新型コロナウイルスの感染拡大防止をしながら、十分に学習ができるようにするための必要な整備を行うものです。そのために必要な経費を国が2分の1の額を限度として補助するものです。特定財源について御説明いたします。13ページ、14ページをお開きください。上段の15款、2項、6目、1節小学校費国庫補助金のうち、学校保健特別対策事業費補助金800万円及び2節中学校費国庫補助金のうち、学校保健特別対策事業費補助金375万円を計上しております。各学校によって、新型コロナウイルス感染症対策の整備状況、あるいは学習保障の整備状況は異なるため、それぞれの学校の整備状況に応じた整備を行うものです。続きまして、新型コロナウイルス感染症対策緊急環境整備事業（幼稚園）について御説明します。31ページ、32ページをお開きください。中段の10款、4項、2目、11節消耗品費4万7,000円及び18節園用器具費44万8,000円は、新型コロナウイルス感染症対策として、必要な消耗品及び備品を整備するものです。幼稚園に対し1園当たり50万円を限度として、対象経費を全額国が補助するものです。マスク、使い切り手袋、幼児用の机、自動薬剤噴霧装置、配膳ワゴン等

を購入します。特定財源について御説明いたします。13ページ、14ページをお開きください。上段の15款、2項、6目、4節教育支援体制整備事業費交付金49万5,000円を計上しております。学校教育課からの説明は以上でございます。御審査のほどよろしくお願いいたします。

高松秀樹分科会長 それでは説明が終わりましたので、委員の手元には詳細な資料を配付されておりますので、それを見ていただいて補正予算書の29、30ページ、最初は小学校費、中学校費、両方を含めて質疑を求めます。

伊場勇委員 両方消耗品費として、いろいろ石けんやマスクや書いていますが、さっき総務課は消毒液を半年間分準備するということでありましたが、これは期間とか、そういうのは決まっているのでしょうか。

西村学校教育課課長補佐 期間は、この年度末までの半年間が対象になっております。

伊場勇委員 それでは半年間の中でも、やはり小学校でも中学校でもばらつきがすごいなと思っているんですが、これは学校長の判断ということでしょうか。

下瀬学校教育課長 これまで学校のほうで備蓄してきたものとか、教室環境とか様々に違いますので、校長の柔軟な対応ができるように校長の判断ということになります。

吉永美子委員 一応確認です。校用器具費というところに小学校も中学校もエアコンとありますが、これをこのお金を使ってエアコンを整備するっていうところがあるのでしょうか。これまできちんとできているって認識でいるんですが、エアコンは入っていないと思ってよろしいでしょ

うか。

西村学校教育課課長補佐 エアコンについて、3密を避ける意味で特別教室などに簡易的なエアコンを設置することについては、今回は認められるということになっておりますので、中にはエアコンを上げられている学校もございます。

高松秀樹分科会長 エアコンを申請している学校があるんですね。特別教室等に付けてくださいと。その申請校はどこになりますか。

西村学校教育課課長補佐 今、上げておるところが高千帆小学校、それから津布田小学校、これはスポットクーラーです。小野田中学校、以上でございます。

吉永美子委員 逆に分からなくなりましたが、どこの学校も特別教室にはエアコンは付いていないんだけど、自分のところは、今回、エアコンはいいですっていう学校が多々あるということですか。

西村学校教育課課長補佐 そうです。このエアコンが認められたのが、今回の予算を組み立てる直前に、最終的に県、国のほうからエアコンが3密を避ける意味であれば、この時期に設置することも可能というふうな指示が出て、学校には速やかにお知らせしたんですけども、まだ、学校のほうでその辺の対応ができてないところがあったと考えます。

吉永美子委員 だから結局、特別教室には子供たちは現実にいるんですね。余り使ってないんですか。ほかの学校ですけど、エアコンの必要性っていうところなんですか。今言われたのは3校ですかね、高千帆小、津布田小、小野田中だけですか。

西村学校教育課課長補佐 高千帆小学校、津布田小学校、小野田中学校です。

吉永美子委員 分からなくなってきましたんですが、普通教室は全部付いていて、中学校については、音楽教室は夏休みも使うから付けますって言われて、そのあと小学校も付けますよってあって。今、全くこの3校を除いた特別教室については、全校、今はまだエアコンが付いていないということなんですか。

高松秀樹分科会長 吉永委員の質問は、普通教室以外にエアコンがどこに付いていますか。さらに、この今の3つの学校は特別教室に恐らくエアコンを付けてくださいという申請が上がっているということになるんですね。だから、特別教室に付いてないんでしょ。それを恐らく確認したいんじゃないかなと思いますけど。

吉岡教育委員会次長 現在は、普通教室、特別支援教室に、それと中学校の音楽室、それから今年度、小学校の音楽室に付いております。それと図書室でございます。今、特別教室にということの話がありましたが、実際の用途としては相談室として使うと。そのために、ここにエアコンを付けるということでございます。

吉永美子委員 相談室っていうことは、スクールカウンセラーとか子供たちとかいろんな方が来られたりして、そういうときにエアコンがないっていう状況の中で、本当に夏の暑いときに、冬だったら寒かったりするけど、相談の対応は大丈夫なんですか。

下瀬学校教育課長 今、お話があった相談室については、暑い時期もありますし、寒い時期もありますが、カウンセラーがより快適な状況で相談ができるために、ここに要望があったということでございます。

宮本政志委員 エアコンからそれますが、中学校の校用器具のほうの主な用途にサーモグラフィ、ジェットヒーター、滅菌ボックスと書いてあり

ますよね。これは、中学校を見ると高千帆中、厚狭中、埴生中って書いていますよね。それぞれ教えてもらえますか。

西村学校教育課課長補佐 高千帆中学校がサーモグラフィー、厚狭中学校がジェットヒーター、埴生中学校が滅菌ボックスです。

宮本政志委員 ということは、ほかの中学校からは要望が多分なかったのかな。ほかの中学校は必要がないっていう判断でいいですか。

西村学校教育課課長補佐 ほかの中学校からは、別の物品等について要望がございました。

藤岡修美委員 事業費っていうか、100万円、150万円、200万円っていうきっちりした数字になっているんですけど。これは当初からその学校の生徒数とかを基に枠を各学校に提示して、その中で各学校が判断してこういったものを買いたいと上げられていると理解していいですか。

下瀬学校教育課長 そのとおりでございます。校種、それから児童生徒数によって上限額が決まっております。

高松秀樹分科会長 資料の書き方ですけど、ここは、本当は申請額ではなくて、割り振った額ですよ。学校から申請が上がってきたわけじゃないですよ。そういう形の中で表を作っている。非常にきちんと資料を作っていただいて感謝しております。資料を作っていただくと、いろいろ質疑が出るものなんですけど、我々も慎重な審査ができるという意味合いからすると感謝申し上げます。このまま質疑が続きそうですので、30分たちましたので、ここで1回暫時休憩をして換気、空気の入換えをいたします。10分後の3時30分に再開をしたいと思います。それでは暫時休憩いたします。

午後 3 時 2 0 分 休憩

午後 3 時 3 0 分 再開

高松秀樹分科会長 委員会を再開します。引き続き、委員の質疑を求めます。

水津治委員 感染症対策の中で、学校のほうからペーパータオルの要求っていうのが出てないんですが、通常、手洗いをした後、自分の持ってきたタオル、ハンカチでという指導をしておられるのか。効果は、ペーパータオルっていうのは非常に役に立つんですね。要求がなかったのか、若しくは、これに対して学校のほうでどのような対策を取られているか教えてください。

下瀬学校教育課長 通常、手洗いした後は、各自持っているハンカチで手を拭くっていうのが、これまで指導しているところです。そのためには、そのハンカチが清潔でなければならないので、各御家庭において、きれいなハンカチを持たせてくださいっていうのが、これまでの指導です。あのペーパータオルについては、消毒等必要な場合においてはペーパータオルを使って消毒をしたり手洗いのときに拭かせたりということはございます。

山田伸幸副分科会長 一覧表を見させていただいて、いろいろ考えたんですけど、最初の説明の中で学習保障のためだというふうな説明があったと思うんですが、学習保障であれば遅れた子供に対して丁寧に教師なりが当たっていくというのが、私は一番有効であると思っていますが、こう見ると、消耗品といいますか備品といいますか、そういうものばかりで、これが学習保障にどのようにつながるのかという疑問があるんですが、いかがでしょうか。

下瀬学校教育課長 学習保障につきましては、学校にとっては、割と額の大き

い物で、今回でなければ買えないようなものを結構買っているところもあります。学習保障については今、委員が御指摘された個別の指導ってというのは、教員が一人一人の子供を、例えば、個別に、あるいは横について助言をしながら、きめ細かい指導をしているというところが現状でございます。

山田伸幸副分科会長　なかなか、こういった機会でなくては、プロジェクターとか、大きなスクリーン等なかなか手に入らないものが、これで解決するというふうなことを思われているのかもしれませんが、一番金額として表しやすいものがここに出てきていると思うんですけど、やはり私はそういった人対人が個々個人の学習意欲の引上げ、実際に学力を付けていくために一番必要だというふうに思っているんですけど、そういった人的な配置というのは今回該当しないのでしょうか。

下瀬学校教育課長　人的な配置は、今回上げました予算の中ではありませんが、教員の場合、県費負担教職員でありますので、県教委のほうの人員配置になります。この8月から各学校に学力向上等支援員ということで、教員の支援をする教員免許状を持った支援員を各学校1名配置することになっています。ほぼ、この9月から配置ができるという状況にあります。

山田伸幸副分科会長　この表を見て、ちょっとこれは何だろうかなというのがありましたのでお聞きします。高泊小学校の校用器具費で大型ファン82万円というのが校用器具費の中で突出をしているんですが、これは一体どういったものを購入されようとしているのでしょうか。

西村学校教育課課長補佐　高泊小学校が希望されているのは、大型ファンではございませんで、網戸を希望されております。ここの例示に挙げてなくて申し訳ございません。

伊場勇委員　学習保障のところなんですけれども、この新しく購入されるもの

で、コロナ禍でも、できる限り従来どおりの学習内容でということをおっしゃられると思いますが、例えば、マスコミで、姉妹校と申しますか、関係のある小学校と、本当は行き来をして交流するっていうのがあるんですが、今年はできないからリモートで交流を図るとかというような授業があると思うんですけど、本市ではどういったことを今、主なものでいいんですけど、どういったものをコロナ禍でその色々な機材で学習を保障していこうと思っておられるのか教えてください。

下瀬学校教育課長 委員おっしゃいましたのは遠隔授業というやり方だと思います。島同士の児童生徒をそれぞれ結んで、お互いが交流しながら会話をしながら授業できると。これもWi-Fi環境があればこういうこともできます。ただ、今、GIGAスクール構想でWi-Fiの整備を急ピッチで進めておるところです。その整備ができれば、そういう遠隔授業についても可能となります。そして、今回の整備については特に学習保障のほうは、今後1人1台端末になることを見据えて、その説明をするときにディスプレイがあると児童生徒にしっかり個別の学びを自分自身が端末を使って取得することができる。そして、持ち帰ったときも家庭と学校とをつなぐときに、やはり小さい画面では表情とかも見えませんし、30名いればよく分からんというのをディスプレイで補完していくということになります。

山田伸幸副分科会長 今回の説明からすると、これはもう既にGIGAスクールに向けた取組の一環であるというふうに考えたほうがいいんでしょうか。

下瀬学校教育課長 6月の補正予算におきまして、GIGAスクールのほうの1人1台端末のことについても御意見をいろいろ頂戴いたしまして、今後、今から整備する途上にあります。それで、今回はその1人1台端末を見据えながら、いつ次のコロナの流行が来るかということを見ながら、学校が校長の判断で柔軟に対応できるようにという目的のところがありますが、そういうことで、この整備する内容、学校保健の分野、そして

学習保障の分野、両面見ながら、今ある教育財産がどれぐらいあるかということを見て、校長のほうが柔軟に判断したというところがございます。

山田伸幸副分科会長 ディスプレーについて、生徒と先生が離れて、各家庭と学校を結んでやる場合、巨大なディスプレイがあると一度に20人から30人ぐらいの生徒を映し出して、先生がそれに向けて授業を行うことができる。こういったことも狙われているんだと思うんですけど、実際のところ、この大型ディスプレイというのは何人ぐらいまで表示できるのでしょうか。

下瀬学校教育課長 小さい普通のパソコンでも、今やられているオンライン授業では全て児童生徒の顔は入ることは多分できると思うんですよ。ただ、すごく画面が小さければ一人一人の顔も小さくなるということで、今ほとんどの学校が要望しているのは50型、あるいは55型ぐらいのディスプレイだと考えています。そうすると、子供の表情あるいは先生の顔なども、しっかり向こうのほうに映るということになって双方向の授業がより人間的な魅力というものも出ようと思っています。

長谷川教育長 少し先ほどのことについて補足をさせていただきます。この事業自体、国が下ろしてきた事業ですけども、大きく二つの目的がある。一つは、そこにある感染症対策に使えますよ。もう一つは学習保障に使えますよ。そういったものでございます。この度のこの学習保障で、先ほどから話題になっておりますディスプレイやプロジェクターを、各教室で、つまりクラスに1台を整備したいというふうな思いもございます。各学校長もその思いで、これを整備してきている。まあ、少ないところがあります。それはもう各学校の予算で整備してきた学校です。今度はGIGAスクール構想で子供たちに1台ずつのパソコンが手元にあります。それを使って、今度は授業をする。オンラインだけではない。先ほどオンラインの議論になっていましたけれども、各教室の中で普通に

パソコンを使って授業をする、そういったものをしないといけない。そうしてくると、各教室に1台あって、そこに子供たち一人一人の学びを映し出して、みんなで共有をして学習を進めていったりということが可能になってくる。つまり、今回のこの予算を使って、そういったなかなか一度にそろえられない器具もそろえて学習保障をしていこうという思いがございます。

宮本政志委員　そうすると今、教育長の御説明からいくと、高泊小学校のみがテレビ、ディスプレイ、プロジェクターと極端に予算が少ないんですけど、これはもうそろっているっていうことで。（「はい」と呼ぶ者あり）

長谷川知司委員　小学校、中学校については国庫支出金が2分の1ということでありまして、先ほど説明がありました幼稚園につきましては、全額補助ということで50万円以内ということはあるんですが、逆に考えれば、幼稚園については50万円が全額出るんであれば、市の持ち出しの50万円ではほかにも幼稚園に整備するという考えはなかったんですか。

長谷川教育長　今、委員御指摘されましたけれども、申し訳ありません。そこまでは考えておりません。

長谷川知司委員　幼稚園の要望も今後お聞きになられて、やはり幼稚園も必要なものは整備していくというスタンスで行かれたほうがいいと思います。

吉永美子委員　大變的外れな質問をするかもしれないんですが、先ほど教育財産って言われました。そういったものを活用していくっていうことで、それで以前、私、どこの学校を見に行ったらか忘れたんですが、南極に行かれている先生とやりとりして、すごく子供たちがこれは喜ぶなっていうことをされた、ああいった環境整備をされたことっていうのは、どうなっているんですか。全くいかす形はできないんですか。その辺済みません。全然分かっていないので。

下瀬学校教育課長 南極との基地をつないだ授業というか交流があったのは覚えていますが、そのときにどんな器具を使われて、どうされたかというについては、今分かっておりません。

吉岡教育次長 今おっしゃられたのが、たしか10年ぐらい前だったと思います。南極の昭和基地と市内の小学校全校をテレビ会議で結んで、南極の隊員の方から授業していただいたというような事業でございました。これは当時、国のほうの補助金で特別なテレビ会議システムを入れておりましたので、それを使って行ったということでもありますけれども、現在そのテレビ会議システムにつきましては、もう返却しておりますので、使用できないという形になっております。

長谷川教育長 この度、GIGAスクール構想の中でLANの整備、それからパソコンの整備も行います。そういった環境を整えば、そういった授業も教室ごとに可能になるということでございます。

吉永美子委員 幼稚園においての園用器具費はどういうものでしたか。

下瀬学校教育課長 マスク、使い切り手袋、児童用の机、自動薬剤噴霧装置、配膳ワゴンでございます。

吉永美子委員 マスクとかは消耗品費じゃなくて、この消耗品費は何になるんですか。

西村学校教育課課長補佐 消耗品費でマスク、手袋を購入予定です。

吉永美子委員 私が聞いたのは、園用器具費っていうのはどういうものを購入されるんですかとお聞きしました。

西村学校教育課課長補佐 失礼いたしました。園用器具費で幼児用の机、配膳ワゴン、自動薬剤噴霧装置を購入予定でございます。

吉永美子委員 すると、今の配膳ワゴンとか机とか、そういうのがもう、いわゆる古くなった状態を我慢して使ってきたんですか。

西村学校教育課課長補佐 机というのが、今、一つの机に4人が向かい合わせに座って食事をしております。それがコロナウイルス感染症上、ちょっと問題があるので、できれば一方を向いて食事がとれるように机を増やしたいというものでございます。

高松秀樹分科会長 そのほか質疑はよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、僕のほうから、小中学校総額で2,350万円と書いていますが、この購入方法はどのような方法によるんですか。

西村学校教育課課長補佐 特に消耗品等について感染症対策に必要なものについては、速やかに購入できるようにというふうに国のほうの要綱上なっておりますので、すぐに必要な消耗品については速やかに購入できるように、学校に配分をしたいというふうに考えております。ただ、ディスプレイ等の大型なものについては簡単にすぐ購入できるというものではございませんので、監理室等に協議しながら速やかに購入したいというふうに考えております。

高松秀樹分科会長 質問の趣旨は、例えば、随意契約によるものなのか、入札によるものなのか、また、各学校単位によるものなのか、それとも教育委員会が主導で全学校のものに対して、入札及び随意契約で商品を買っていくのかということなんですけど。

西村学校教育課課長補佐 消耗品で金額が入札等の必要のないものについては各学校で購入できるようにしたいというふうに考えておりますが、一般

的に備品等で入札をしなければならない金額のものについては、今後、監理室等と相談しながら進めていきたいというふうに考えております。

高松秀樹分科会長　ということは、進めていき方の協議は終わってないというふうに思っているんですか。（「そうです」と呼ぶ者あり）随意契約にしても市内業者がいらっしゃるのであれば市内業者を使うっていうことも含めて、金額も大きいので、おそらく一遍に購入するんじゃなくて、分割でいろいろ購入したりというふうに協議されると思いますけど、是非市内業者育成に関わるような購入方法を取ってほしいというふうに思っております。そのほか幼稚園のほうも含めていいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）これで終わりますけど。本当に今日はこういう資料を出していただいて質疑も充実したと思います。今後につきましても、こういう資料を出していただきながら我々も質疑でもって、その議案の内容を深めたいというふうに思っておりますので御協力をよろしくお願いします。それでは、以上で一般会計予算決算常任委員会新型コロナウイルス感染症対策分科会を終わります。ありがとうございました。お疲れ様でした。

午後 3 時 4 8 分　散会

令和 2 年（2020 年）9 月 1 日

一般会計予算決算常任委員会

新型コロナウイルス感染症対策分科会長　高　松　秀　樹